

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2023年7月19日
住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地） 大阪府大阪市北区芝田2丁目3番19号	氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 鉄道リネンサービス株式会社 代表取締役 大野 好男

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	鉄道リネンサービス株式会社EMS（独自のシステム）
適 用 範 囲	鉄道リネンサービス株式会社 向日町工場
導 入 年 月 日	2015年 7月 31日
認 証 番 号	
基 本 方 針	省エネ法に基づき、工場等、輸送、建築物及び機械器具等についてのエネルギーの使用の合理化に関する所要の措置、電気の需要の平準化に関する所要の措置その他エネルギーの使用の合理化等を総合的に進めるために必要な措置を講ずる
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	工場全体として、エネルギー消費原単位又は電気需要平準化評価原単位を中長期的にみて年平均1%以上低減の努力
目標を達成するための取組の内容	室内温度の適正化 スチームトラップ年2回点検及び不良箇所改善 ロール保温カバー取り付け工事 蒸気バルブ更新工事 保温工事 2022年度タオル場乾燥機10機更新
目標を達成するための取組の進捗状況	室内温度の適正化 スチームトラップ点検及び不良箇所改善 一回実施済 コージェネライトの定期点検実施 一回実施済 コンプレッサー定期点検 一回実施済 貫流ボイラ定期点検実施 二回実施済 2022年度タオル場乾燥機10機更新
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	2022年度の市況は年度当初徐々に回復しました。そして、後半10月以後はコロナも収まり、旅行支援も始まり一気に回復基調になり、2019年頃の90%位まで一気に回復致しました。その為、エネルギー使用料は対前年の2倍以上に膨らみました。数量増加に伴い、コロナ禍で従業員の数も減少したこともあり、少人数での対応が出来たことにより、原単位をぐっと上げる事が出来ました。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について1ヶ月に1回確認を行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、原則として1年に1回検討している。 平成31年度は、現行の目標及び取組内容により一定の成果が見られたことから、次年度も同一のシステムにより運用する。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。